

もくじ

- ・ いのちのろうそく

いのちのろうそく

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： コトコト

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

3

むかし むかし、ある むらに、やすけという、
とても びんぼうな おとこが すんでいました。

あるばん、ねどこで やすんでいた
やすけのみみに、ごそごそと、
ひとの はなしごえのようなものが
きこえてきました。

「ん？ ・・だれだよ、こんな よなかに・・」

やすけが めをあけると、なんと めのまえに、
しわだらけの おじいさんの かおが
あったのです。
おどろいた やすけは、
ふとんから とびあがりました。

「うわ！ な、なんだ あんたは！！」
「おれは『しにがみ』だよ」
「し、しにがみだと！」

さらにおどろいた やすけは、
もう たちあがれなくなっていました。



5

「い、いやだ・・・おれはまだ しにたくねえよ～」

「・・・いや、まだ おまえさんのぼんじゃ ないよ。

それより どうだい。おれと くんで、

ひとつ かねもうけしてみるきは ないか？」

「かねもうけ？・・・いったい どういうことだ」

「いいか、おれのすがたは、ほかの やつには みえん。

おれが びょうにんの『あしもと』に すわったら、

そいつは もうたすからない。だが、おれが

びょうにんの『まくらもと』に すわったら、

そいつの びょうきは かならず よくなる」

「そ、そうか。びょうきが なおるか なおらないかが

わかれば、それをりようして、

かねもうけが できるってわけか」

「そういうことだ。

おまえさん、なかなか あたまのまわるやつだな。

よし、まず ためしに、あすの あさいちに、

むらの じろべえのいえに いけ」

「わかった。おれに まかせてくれ」

はなしが おわると、しにがみは

まるで けむりのように きえてしまいました。

